

## 菊川市立総合病院中期経営計画

### 1. 計画策定趣旨

現在行われている医療制度改革では、急速な少子高齢化、低迷する経済状況、医療技術の進歩、国民の意識変化等、医療を取り巻く環境の変化をふまえ、医療法改正や診療報酬の改定が進められています。このため当院においても、地域社会のニーズに対応した病院機能を明確化するとともに、病病・病診連携の推進、情報基盤の整備、第三者評価の推進、医療安全対策の充実を図り、患者様に選択される病院づくりを行う必要があります。

このようななか、今回地域中核病院としてふさわしい病院づくりを進めるための指針となる中期経営計画を策定し、今後果たすべき役割について明確化し、平成17年度から21年度までの5年間の病院ビジョンと経営方針及び具体的な行動に向けた取り組みを示すものです。

### 2. 事業運営の基本方針

#### (1) 計画の位置付け

菊川市集中改革プランの中の地方公営企業の経営健全化の趣旨に基づき、診療報酬のマイナス改定や社会問題化している医師不足の問題をクリアし、住民に信頼される中核病院としての役割を果たす。

#### (2) 計画策定の期間

開始年度	終了年度
平成17年度	平成21年度

#### (3) 事業運営の目標

深刻化する医師不足や診療報酬のマイナス改定など医療機関として多くの難題を抱え、厳しい情勢の中でも医師確保を最優先課題とし、地域中核病院の役割を今後も果たしていく。

医師数確保(常勤医師数)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	29人	29人	32人	34人	35人

#### (4) 経営基盤強化への取組に係る基本方針

自治体によって運営される病院は、厳しい経営環境の中であっても、不採算部門の削減など市民を不安にさせる対応はできません。したがって、厚生労働省がすすめる病診連携(外来患者様は開業医、入院が必要な患者様は病院)を推進し、現有病床の270床を効率的に運用し経営基盤の強化に努めます。

外国人等の未集金対策に力を入れ、今まで以上に回収を図ります。

### 3. 事業計画

#### (1) 中期財政収支計画(単位:千円)

##### ① 収益的収支及び資本的収支

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
収益的収支	料金収入	3,960,092	4,237,659	4,358,510	4,357,727	4,358,075
	他会計補助金等	513,952	409,445	420,065	429,169	437,165
	(うち基準内繰出)	(444,042)	( )	( )	( )	( )
	(うち基準外繰出)	( 69,910)	( )	( )	( )	( )
	人件費	2,373,717	2,451,085	2,451,000	2,460,000	2,470,000
	物件費	2,100,327	2,196,019	2,327,575	2,326,896	2,325,240
	経常損益	0	0	0	0	0
資本的収支	企業債	185,000	177,000	280,000	280,000	280,000
	他会計補助金等	126,725	151,923	247,000	284,000	336,000
	(うち基準内繰出)	( )	( )	( )	( )	( )
	(うち基準外繰出)	( )	( )	( )	( )	( )
	他会計借入金等	0	0	0	0	0
	国補助金		0	0	0	0
	県補助金	4,730	0	0	0	0
建設改良費	328,266	227,085	214,000	196,000	264,000	
企業債償還金等	340,089	377,886	371,000	427,000	504,000	

## ②企業債残高

千円

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
総額	8,171,733	7,963,440	7,760,000	7,560,000	7,360,000
(うち公的資金)	( )	( )	( )	( )	( )

## (2)中期指標(金額単位:千円)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
経常収支比率(%)	100%	100%	100%	100%	100%
不良債務比率(%)	0	0	0	0	0
累積欠損金比率(%)	27	27.5	27.3	27.5	27.8
繰入金比率(%)	11.5	10.3	9.2	9.2	9.2
職員一人あたり営業収益					
事故件数					
顧客満足度					
苦情受付件数					

## (3)定員管理に関する計画

	17.4.1 ～ 22.4.1	対17.4.1 純減率	11.4.1～ 16.4.1純減 実績	対11.4.1 純減率	定員適正化計画 見直し状況
採用者見込み(A)	100				現在の病床数及び 診療科数を維持す る最低人数
退職者見込み(B)	100				
純減数(B)-(A)	0	1	-9	-3.3	

## 年度別内訳

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
採用者見込み	20	20	20	20	20
退職者見込み	20	20	20	20	20

※17.4.1現在の総職員数：272

22.4.1現在の総職員数：272

## (4)給与適正化に関する計画

	実施内容	予定年度(実施済年度)
特殊勤務手当の適正化	待機手当(医療職)の廃止	平成18年度

※菊川市集中改革プランの「給与の適正化に関する計画」を準用する。

## (5)将来需要予測

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
外来患者数(1日平均)	831.0	828.0	820.0	815.0	810.0
入院患者数(1日平均)	212.5	225.5	230.0	235.0	240.0

## (6)主要施策

	施策名	実施時期	内容(理由)
1	救急待合室改築工事	平成17年	増加する時間外患者の待合室を広くする
2	病院機能評価受審	平成17年	第三者機関による病院認定の更新
3	電子カルテシステム導入	平成21年	患者サービスの向上

(7)設備投資計画(金額単位：千円)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
CT撮影装置更新等	328,266				
血管撮影装置更新等		227,085			
多目的X線TV装置更新等			280,000		
全身用MRI更新等				280,000	
体外衝撃破結石破碎装置更新等					280,000

4. 経営基盤強化への取組

(1)経営改革への取組

事務部門については平成17年度までに可能な部分の委託化を終了し、平成18年度は検査科の検体検査部門を委託化する。その後についてもサービスの低下をまねくことのないよう可能なかぎり委託化を推進する。

(2)人材育成への取組

従来から活動している院内の教育研修委員会の主催する、新人・中堅Ⅰ・中堅Ⅱ・主任係長・管理職研修及び菊川市で行う職位別研修に参加し、必要な人材の育成を目指す。

5. 経費節減等の取組による効果額

(単位 千円)

項目		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
収 入	検体検査の委託化		30,000	30,000	30,000	30,000
支 出	人件費削減	職員削減				
		退職者不補充の場合の効果額				
	嘱託、臨時、派遣職員等の活用の場合の効果額		40,000	40,000	40,000	40,000
		給与等削減(調整手当・待機手当の廃止)	14,785	14,000	14,000	14,000
	組織の統廃合					
	民間的経営手法の導入による事務事業費削減					
	検体検査の委託化による試薬費の削減		50,000	50,000	50,000	50,000
検体検査の委託化による検査機器の更新不要		10,000	10,000	10,000	10,000	
合計			144,785	144,000	144,000	144,000

6. 環境保全等への取組

緑多い病院の環境を維持することはたいへん苦勞しているところですが、年10回程度の職員の草取りやボランティアの方々の草取りで運営されているところです。これからも、患者様の療養環境のことを考え維持運営していきます。

7. 計画達成状況の公表

(1)公表時期

	公表時期
中間報告	平成 年 月
最終報告	平成 年 月

(2)公表方法

菊川市役所ホームページ及び菊川市立総合病院ホームページに掲載

項目		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
収 入	検体検査の委託化		30,000	30,000	30,000	30,000
支 出	人件費削減					
	職員削減					
	退職者不補充の場合の効果額					
	嘱託、臨時、派遣職員等の活用の場合の効果額		40,000	40,000	40,000	40,000
	給与等削減(調整手当・待機手当の廃止)		14,785	14,000	14,000	14,000
	組織の統廃合					
	民間的経営手法の導入による事務事業費削減					
	検体検査の委託化による試薬費の削減		50,000	50,000	50,000	50,000
検体検査の委託化による検査機器の更新不要		10,000	10,000	10,000	10,000	
合計		144,785	144,000	144,000	144,000	